国際ロータリー第 2550 地区

国際ロータリー会長:シェカール・メータ 第 2550 地区ガバナー: 石田順一 事務所:〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15

ベルヴィ宇都宮内 TEL: 028-651-2550 FAX: 028-651-2551

E-mail: m2550@agate.plala.or.jp



会 長:荒牧明二 幹 事:安藤譲治 事務局:食健サロンゑゑ塩梅

E-mail:hideki akiba@akibacorp.com 例 会:国民の祝日を含まない週の水曜日 12:30 - 13:30

割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2962回 荒牧年度第32回例会会報 2022-6-15 司会村山茂君

🥨 会長挨拶 荒牧明二会長



皆さんこんにちは、最近車の性能が向上してい るのには驚かされることばかりです。速度を一定 に保つ機能やブレーキアシスト・・・。少し前までは 高級車にしか搭載されていなかった技術が、今は、 コンパクトカーや軽自動車にまで使われています。

参考にはなりませんが、1995年11月1日から営 業のお台場を走る「新交通システム」ゆりかもめは、 ゴムタイヤ式の小型軽量車両が、専用の高架軌 動を自動制御によって走行する中量輸送交通機 関です。道路を走るのとは比べることは出来ませ んが運転手がいなくても多くの人を乗せ27年間大 きな事故もなく営業しています。これはこれで素晴 しいと思います。

自動運転技術には、レベル0からレベル5までの 6段階があるそうです。レベル0と言うのは、自動 化技術が何もない状態。いわゆる従来の自動車 です。レベル1、2は衝突被害軽減ブレーキ、車間 距離制御装置などのように、アクセルやブレーキ 操作を支援する仕組みで、運転支援はこれに当 るそうです。

レベル3になると、高速道路などの限定された領 域で、自動運転する仕組みになります。限定され た領域とはいえ、ドライバーの操作なしに走行が 可能なため、このレベルからが自動運転といえる

そうです。ただ、自動走行中に何かあった時のた め、ドライバーがすぐに運転に戻れなければなり ません。

レベル4は、決められた条件下であれば、ドライ バーを介在せず、システムだけでの走行が可能 になります。現在、各地でラストワンマイル(主に 中山間部で、公共交通の最終地と自宅など最終 目的地を結ぶ移動システム)などの実証実験が 行なわれています。レベル5は完全自動運転を言 います。

自動運転技術は、交通事故の軽減だけでなく、 いろいろな効果が期待されています。タクシーや バスなど公共交通機関のドライバー不足の解消、 地方在住の高齢者の移動手段、物流の効率化な ど。そのための社会実験が行なわれています。

ただ、便利な科学技術には必ず「影」も存在しま す。「科学は本来、善でも悪でもない。良いことに 使えるし、悪いことにも使える。毒にも薬にもなる 性格を持っている」とは湯川秀樹博士の指摘です。 今でも説得力があります。

核エネルギーが核爆弾に利用されたように、ど のような技術でも軍事利用は可能です。航空機 の自動操縦技術が無人ドローン偵察機などに使 われているのは周知の事実です。

科学技術をどのように利用するのか。それは使 う側の倫理観にかかっています。便利にしたいと いうだけでなく、弱者に対する思いやりという視点 があるか。子供や高齢者など交通弱者のために なるのか。「人間を幸福にするための科学技術」 という視座から、社会の進歩を見つめてゆきたい と思います。

以上で会長挨拶を終わります。有難うございま した。

◎ 幹事報告 安藤譲治幹事

先週ご報告しました新入会員推薦された金澤弘 子さんについてですが、異議の提出はありません でしたので、会員増強委員会並びに推薦者の鈴

出席報告 泉道夫会員

(出席規定の免除会員数6名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日 6月15日	36 (6)	30 (3)	6 (3)	90. 9%	_	_
前回 6月 8日	36 (6)	27 (3)	9 (3)	81. 8%	3	90. 9%



木隆子会員は勧誘に向けて行動をお願いします。



〇大島三千三次年度幹事



次年度幹事の大島です。6月29日最終例会の 出欠表を回覧しています。出欠のご記入をお願い 致します。

本日皆様のレターボックスに次年度の組織編制 を入れました。ご確認をお願い致します。

過日行われた植竹年度理事役員会の報告をさせて頂きます。

7月プログラムについてですが、予定通り承認されました。

植竹年度のプログラムですが、8月10日がガバナー公式訪問の日が祭日週となる点、また1月11日新年会例会が祭日の週となります。例会回数36回となります。

出席免除会員について。事前に書面申請をお願いしておりましたが、新規の出席免除の申請はありませんでした。これまでの7名の方に、新たに1年間休会を申請された泉道夫会員を加えた8名が出席免除会員となります。

療養会員の会費減免について。荒井昌一会員 と泉道夫会員の2名を、例会食事代1,700円×36 回分を会費免除し、180,000-61,200=118,800を 年会費と致します。

〇髙木茂会計



今年度も残すところわずかになってまいりました。

請求書・立替領収書をお持ちの方は、6月29日 の最終例会には提出ください。よろしくお願いいた します。

<u></u> ニコニコボックス 北畠大輔委員



□ 村山茂会員

荒牧会長、安藤幹事、1年間 ありがとうございました。目標 達成です。

□ 安藤譲治会員

一年間ありがとうございまし

□ 小野安正会員

□ 髙木 茂会員

□ 田中 徹会員□ 青少年委員会

た。もう少しです。 お世話になりました。 一年は過ぎるのが早いです。 特に何もありません。

BOOK ACTION売上金で す。

□ 髙木慶一会員 29日の荒牧年度最終夜間例 会。1年間お世話になりました。

◎ 卓話 クラブ協議会

〇荒牧明二会長

改めまして皆さんこんにちは、年度総括として、この一年を振り返りたいと思います。一年はアット言う間に過ぎてしまいました。昨年6月9日会長挨拶抱負で、この一年、「挑戦」と「行動」で進んで行きます。そして会員増強2名。例会の充実。創立60周年記念事業の開催。そしてハイブリット例会の推進を年度計画の骨子として掲げスタートしました。

昨年3月28日Zoomによるペッツ会長エレクト研修セミナーを受け、この頃からいよいよ始まるなと、緊張し自覚しました。内心はまだ3月だ、まだまだ期間はあるある。胸をなでおろす。

4月21日荒牧年度第1回理事役員会が始まり、 いよいよ始まった。気合いを入れました。

時間はたちまち経ち、6月21日インターアクト年次大会のホスト校の担当に黒磯高等学校がなっていましたので、黒校の先生方、青少年委員会の皆様と事前打ち合わせを行ない、事前の段取りは大変でしたが、無事8月9日Zoomに依る年次大会が開かれました。

石田順一ガバナー、長島パストガバナー参加して頂き、インターアクトの皆様はじめ、鈴木隆子青少年委員長・委員会のメンバー・ロータリアンの皆様の応援を頂き大成功に終わることが出来ました。7月7日大緊張の中第1回例会が始まりました。胸がバクバク、心臓どきどき、そしてシャツの中は汗びっしょり・・・はじめての例会が終了しホットしたのを覚えています。

あれから今日まで33回あと残り1回は夜間例会になりました。やれやれとした気持ちです。

9月15日ガバナー補佐訪問

9月29日ガバナー訪問どちらもハイブリッドでの 例会でした。

今年もコロナ禍のなかでの運営でした。今年度の例会で、38回予定しておりましたが、休会が5回、ハイブリット例会が10回。昨年との違いはハイブリットで例会ができたことです。少しでも顔の見える例会ということで、IT推進委員の高木慶一会員にはお世話になりました。

また、楽しい例会運営に於いては、外来卓話の推進をお願いしました。結果10回数える卓話が出来ました。担当して頂きましたました委員長様有難うございました。会員相互の友好という事で夜間例会を6回程プログラムに計画しましたが、最後の夜間例会を含めると4回の実施ができます。

10月24日には木綿とイチゴの町真岡にて国際ロータリークラブ第2550地区大会が真岡市イチゴホールにて、午後1時30分ガバナーの点鐘で開会され16時40分に閉会の点鐘で終了しました。

今年1月19日は職業奉仕委員会の職場訪問に、 藤崎会員の「紫雲山等覚院」へ職場訪問を実施し て頂きました。通常の職場と違い神妙な気持ちで 藤崎住職の話に聞き入ってしまいました。

4月13日は荒牧年度最大のイベント黒磯ロータリークラブ60周年記念式典が行われました。田中実行委員長は、最後の最後まで通常の式典を行うことに執念を燃やして頂きましたが、コロナ感染が減少に至らず縮小を余儀なくされました。結果拡大例会ということで実施になりました。少し物足りなさが残った式典となりましたが。この時期としては最高の式典でした。これから5年後10年後また50年後には、後輩ロータリアンに、そんな式典があったと後世に語り続けられることを願っております。田中実行委員長はじめ各委員長・会員の皆様有難うございました。

増強においては純増2の達成を目標に掲げていましたが、今年2月28日で月江寛智会員が諸般の理由により退会、小野安正会員が6月30日で健康上の理由で退会となり、非常に残念でなりません。

諦めかけていた先週秋間増強委員長には嬉しい報告でした。最後に鈴木隆子会員の推薦により金沢弘子様の推薦を出して頂きました。今日まで反対の方は居りませんので入会にして頂ければ嬉しいことです。

5月21日は青少年と社会奉仕委員会による足 尾の植樹に3年ぶりに実施されました。

5月28日には社会奉仕委員会に依る那珂川水 質調査がありました、毎年実施されている黒磯ク ラブ伝統の奉仕事業でした。参加された皆様ご苦 労様でした。

村山委員長をはじめSAAの皆さんにはコロナ禍のなか不規則な例会を取り仕切っていただき有難うございました。

会員の皆様には一年間応援を頂きまして大変 に有難うございました。

最後に私の最も感謝すべきは、安藤幹事です。 私が無事に一年過ごせたのには安藤幹事お陰です。本当に有難うございました。

私の年度も残すところ、2週間となりました。7月から始まる植竹年度に良い橋渡しができますよう、 残りの期間皆様のご協力を頂きながら勤めて参 ります。宜しくお願い申し上げます。

植竹一裕年度におきましては、皆様のご指導ご協力をお願い申し上げまして、年度総括とさせて 頂きます。

ー年間の皆様のご指導、ご協力に改めてお礼 申し上げます。ありがとうございました。

〇時庭稔職業奉仕委員長



本年度の実績報告を3点いたします。

- 1. 新入会員へ「四つのテスト」配布 本年度は栃木銀行支店長である渡辺会員 が継承会員として入会されましたので「四つ のテスト」を配布いたしました。
- 2. 会員手帳の配布 1会員2部の配布を行いました。
- 3. 職業奉仕月間に企業見学等を企画・実施。 今年度は令和4年1月19日に藤﨑会員のご協力を得て、等覚院を見学いたしました。当日は27名の参加を頂きありがとうございました。住職の藤﨑会員より施設の見学・説明をして頂き感謝申し上げます。

〇井出法社会奉仕委員長



本年度社会奉仕委員会は、委員長に井出、副委員長に北畠大輔さん、委員に鈴木隆子さん、平山博さんの4名でスタート、以下活動を行ってまいりました。

- 1. 2021年10月 せきぐち歯科医院 関口院長より「フィリピン医療ボランティア活動」卓話
- 2. 2022年3月下記各団体等への寄付金贈呈式 (那須保護区保護司会、那須山岳救助隊、ボー イスカウト・ガールスカウト、子供食堂 様)
- 3. 2022年5月足尾植樹参加(青少年奉仕委員会との合同)
- 4. 2022年5月 那珂川水系水質調査 ご参加・ご協力いただいた皆様に御礼を申し上 げます。

〇泉道夫国際奉仕委員長



皆さん、今日は。国際奉仕委員長の泉 道夫でご ざいます。

メンバーは秋葉秀樹副委員長、石山桂子委員、 吉光寺政雄委員の4名で活動致しました。

メンバーの皆さんのご協力に感謝申し上げます。 荒牧年度では、このような環境下でしたので思う ような活動は出来ていませんでした。

唯一、2月2日に外来卓話をズーム併用にて行いました。

卓話者は市議会議員の山本はるひ様をお迎え して国際交流についてのお話を伺いました。

今年度は残すところ二週間となりましたが、次年 度は例年の活動ができますよう願っております。

皆様、1年間ありがとうございました。

〇田中徹青少年奉仕副委員長

荒牧年度、青少年奉仕委員会は、田中さん、瀬 尾さん、渡辺さんと私鈴木隆子の4名で運営して まいりました。

本年度、8月には黒磯高校インターアクトクラブがホスト校として、インターアクト年次大会がZOOMにて開催されました。

委員の皆様、はじめ会長・副会長・幹事他本当に多くのメンバーの皆様に何度も黒磯高校に足を運んで頂き、また東洋大学名誉教授の石井晴夫先生にもご講演をいただくなど、本当に充実した大会開催ができました。



心から皆様のご協力に感謝いたしています。 ありがとうございました。

インターアクトの活動といたしましては、やはり、 コロナの影響で活動もかなり制限されていまして、 海外研修の代わりに3月に国内交流事業として TOKYO GLOBAL GATEWAY(体験型英語学 習施設)にて語学学習の計画もございましたが、 直前にキャンセルになってしまいました。

それでも5月にはアクトのメンバーの希望もありまして、社会奉仕委員会と合同で足尾植樹に行ってまいりました。

また、6月12日にはライラセミナーにアクトのメンバー4人全員と顧問の和久井先生が参加されました。

インターアクトとしましては、黒磯高校100周年ということで、那須疎水について等、地域の歴史と黒磯高校の成り立ち等を色々と調べてみたいとのことですので、ここから先は次年度に引き継ぎたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

また、皆様から本を持ち寄って頂きまして始めましたBOOK ACTIONですが、初めに集まりましたご協力売上金¥63,000は黒磯高校インターアクトクラブに活動資金として寄附させて頂き、その後の売上が¥1,000ございましたので、今回はスマイルボックスに入れさせていただきます。

BOOK ACTIONへのご協力もありがとうございました。

お持ちより頂きました本はまだございますので、 今後も良い形で引き継いでいただけたらと思いま す。

〇藤﨑善隆財団委員長

- 会員のみなさまのご協力により地区目標の会員一人あたり150ドル+ポリオプラス30ドルの寄付を達成致しました。
- 2. 恒久基金提供者(ベネファクター)として村山 茂さまにご協力を頂きました(1.000 ドル以 上を恒久基金に無条件でロータリー財団に寄 付した人をベネファクターと言います)。
- 3. 大島年度で申請したロータリー財団地区補助



金申請が受理され、「小学校テント寄贈」プロジェクトを実施することが出来ました。渡辺美知太郎市長を例会にお招きし、目録の贈呈をさせていただきました。寄贈先の豊浦小学校・東原小学校からは御礼のお言葉を頂戴しております。

- 4. 2022~2023 植竹一裕年度ロータリー地区 補助金申請を致しました。那須塩原市教育委 員会事務局のご依頼により、黒磯中学校図 書館の設備拡充資金を申請致しております。
- 5. その他、ロータリー財団について会員の皆さまに理解を深めて頂けるよう、卓話でお話しをさせていただきました。

〇髙木茂米山副委員長



会長方針に基づきクラブ寄附目標、会員一人あたり19,000円としました。内訳としては、ニコニコより4,000円、特別寄附より15,000円としました。

全会員、目標に達成致しました。ご協力に感謝申し上げます。

今年は、米山奨学生の受け入れはありませんでしたが、10月米山月間にて米山記念奨学生の趣旨・目的について会員の理解、並びに認識を深めてもらうために「世界へ届け米山の懸け橋」というビデオを見て頂きました。

国際親善交流を行い、巣立った学友が世界各国で様々な分野で活躍している様子、また、日本

のロータリーの礎を築いた米山梅吉翁の生い立 ちや当事業の特徴などを紹介していただきました。

事業全般をご理解いただきくのに最適な動画ではなかったかと思います。

また機会があれば、静岡県長泉町にある米山梅吉記念館を訪ねるのも良いかと思います。

JR三島駅北口より車で10分だそうです。

〇村山茂SAA



皆様、今日は。荒牧年度の例会も残すところ、本日を含め2回ということになりました。本日は、会長幹事、副会長による年度最後のクラブ協議会ということで、私の出番はないと思っておりましたが、何かしゃべれということでございます。

SAAの活動報告につきましては、5月18日の例会で既にお話ししておりますので、本日は、私の職業に関連して少しお話しいたします。ご承知の通り、タクシー屋でございますので、最近の燃料価格高騰は、事業損益にマイナスの影響をもたらしています。本来であれば、再生可能エネルギーの推進により、化石燃料価格は低下する筈でしたが、ウクライナ紛争あるいは中国のコロナロックダウンなど、ご承知のような事態により真逆の展開となっております。

価格の変動で済めばまだしも、その確保にも滞る事態も懸念されるところです。長期的には地球温暖化対策の必要性は増し、一方、短期的には化石燃料の安定確保が迫られる矛盾した状況ではないでしょうか。

そうした中で、現在使用しているタクシー車両は、 LPG専用車両、LPGとバッテリーによる車両そし てガソリンとバッテリーによる車両の三種類で営 業しております。業界としては地球に優しい車両ということで、ハイブリット車両の導入を促して参りましたが、最近では、電気自動車あるいは水素燃料電池自動車の導入が求められております。

私としては、電気自動車よりも、水素燃料電池 自動車がベターと考えております。エネルギー資 源の少ない日本で唯一確保可能なのは、水素で はないでしょうか?

- 太陽光発電の夜間問題:蓄電池が必要
- 風力発電問題:安定した風量を確保するため、 設置個所が限定される
- 地熱発電:場所が限られる
- バイオ発電:発酵材料の確保
- 原子力発電:日本ではいかがでしょうか?
- 核融合発電:超難技術

その他にもありますが、基本的に物理的・技術的な制約があり、長期の安定確保には何れも問題があります。

酪農の盛んな那須山麓地域で大量に出る糞尿のメタンガス、木材によるバイオ発電に伴うメタンガス、豊富な自然水、そこから水素を取り出し、地産地消してはいかがでしょうか?

以上、本日の卓話といたします。

〇安藤譲治幹事

まず、1年間つたない幹事でしたが本当にあり がとうございました。

荒牧会長を支えて頑張ってきましたが、やはり 新型コロナでの対応に苦慮した1年でした。極端 な話をすれば、例会をやってもやらなくてもどちら でも、その理由はつけられると思います。何もやら なければ楽ですが、いろいろな問題が起こっても 行動をすることが必要だと思い、ハイブリッドでの 開催することにチャレンジしました。皆様の協力が あって、なんとか開催できましたこと本当にありが とうございました。

特に印象的なことは、檜山先生が何とか参加できるようにと、スマホやパソコンの設定とかを教わりながら、努力している姿を拝見してとても感動しました。

また、60周年記念式典も規模は縮小せざるを 得なかったですが、田中委員長の御尽力で開催 できました。

皆さんありがとうございました。

6月15日欠席者(敬称略)

荒井昌一(免) 秋葉秀樹 鈴木久雄 片田航介 檜山達郎(免) 和気勝利(免) 前回6月8日分メークアップ(敬称略) 井出法 稲垣政一 田中徹

次回例会 令和4年6月29日 担当 役員 退任挨拶(夜間例会)

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋 ○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-36-0028 0287-23-4165 近隣クラブ例会日 〇木曜日 大田原/ホテル花月 〇金曜日 黒羽/ホテル花月

0287-54-1105 0287-54-1105